

令和5年度第1回北九州市学校給食審議会 議事概要

【日 時】 令和6年3月29日 13:30~14:30

【場 所】 教育委員会会議室

【出席者】 藤沢加代、加塩大輔（会長）、原田圭子（副会長）、鈴木佐代、白石美恵、三浦隆史、穴井秀和、岩谷かおり、落野朝美、田頭麗宏、山口典子、東由美、永田圭 出席13名（欠席2名）
（順不同・敬称略）

【事務局】 学校支援部長、学校保健課長、給食係長、指導主事

【議 題】 給食及び給食費の状況について

■委 員

保護者の立場から言うと給食費の負担はないほうが良いという部分と、メニューもよく考えられておりすばらしいという部分もある。

北九州市の財政から考えると、市単独での無償化は厳しいと思うので、無償化の要望を国に強く訴えていったほうがよいのではないかと考えている。

■事務局

国の「こども未来戦略方針」の中で無償化について全国の実態調査が行われた。我々としても、国の動向も踏まえつつ、社会経済、実体経済の動向を注視し、保護者の皆様にご負担をお願いするのか、あるいは公費を一部投入してでも負担抑制に努めていくのか、検討していきたいと考えている。

■委 員

給食アンケートについて、市のホームページに結果が掲載されていると思うが、アンケートの対象ではない学校の保護者の中には、アンケートの存在自体を知らない方もいると思う。さまざまな媒体を駆使して、情報提供に努めていただきたい。

■委 員

令和5年度は夏の暑さが非常に厳しく、野菜等の価格が高騰した。他にも配送費の問題等もあり、今後、相当の値上げとなる状況もありうることも皆様に知っておいていただきたい。

■委 員

給食アンケート結果から得られた課題は何か。
「質の向上」、「魅力向上」、「おいしい給食」と名称の変遷があるが、どういった経緯か。

■事務局

アンケート結果について、子ども達からは概ね好評で、ある程度の評価はいただけたものと考えている。保護者へのアンケートについては、今回が初めての試みであり、「おいしい」と評価いただく声も確かにあったが、一方で「家庭で出せないようなものを出して欲しい」であるとか、逆に「奇をてらわなくてもいいので、日頃なじみのある給食、家庭でも出せるようなものを出して欲しい」であるとか、様々な声をいただいた。子どもたちの評価と保護者の評価の中には、数字だけでは見えない部分を我々も感じたところである。引き続き、皆様の意見をひとつひとつきちんと拾っていくことは重要であると考えている。

質の向上、魅力向上にはいろいろな考え方があがる。さまざまなメニューが増えていくということも1つの魅力向上に繋がり、食材をもっと上質なものに変えていく、あるいは有機食材を取り入れていくということも人によっては、魅力の向上に繋がる。

さまざまな選択肢がある中で、例えば有機食材を活用していくとなると、市内での供給量というのが非常に限られている。そういった現状を踏まえると、この魅力向上に取り組むにあたって、その供給量が増えることを待つよりは、スチームコンベクションオープンの導入によりメニューバリエーションを増やし、子どもたちのニーズに応じていくことを選択した。

また、メニューバリエーションも、我々が独自で考えるのではなく、市内の様々な知見を持っておられる方々からご協力いただけるということもあり、今回、「北九州市学校給食応援団」の発足、「おいしい給食大作戦」の開始となったものである。

■委員

令和6年度の予算の議会で話題となった事業の棚卸について、給食関係で影響はあったのか。学校給食応援団の方々への予算はどうなっているのか。

親子方式による調理の問題、調理業務の民間委託の問題、一食食缶方式による米飯の問題、樹脂製食器による問題等も念頭に置いて、質の向上を行っていただきたい。

■事務局

学校給食に関係する予算は、前年同額程度を確保している。それ以上に、このスチームコンベクションオープンの予算は、令和6年度と令和7年度分を合せ、3億1000万円をつけていただいている。この観点で言えば、給食関係の予算は大幅に増えている。引き続き安全安心な学校給食の提供に努めて参りたい。

「おいしい給食大作戦」にご参加いただく学校給食応援団の皆様の費用は無償である。皆様ボランティアでご協力くださっている。

いただいたその他のご意見についても、こういった形が良いか、今後も引き続き、検証をやっていく必要があると思っている。

■委員

令和 6 年度から始まる「おいしい給食大作戦」について、実施期間や最終目標は何か。

■事務局

スチームコンベクションオープン未設置校が 54 校あり、そちらに全校設置できれば、すべての小中学校と特別支援学校の子どもの給食にスチームコンベクションオープンを使うことができるようになり、焼く・蒸すなどの新しい献立を提供できるようになる。令和 7 年度までの給食献立の改編で、現在と比べて約 7 割を入れ替えていくということを 1 つの目標として取り組んでいる。

学校給食応援団の皆様は、現在 10 人であるが、今後もいろいろな方にご参加いただき、幅広い知見をいただきたいと思っている。その中で、さらにご提案いただければ、令和 7 年度以降もこういった形で、お力添えをいただければありがたい。

■委員

「おいしい給食大作戦」で、どういう工夫をして取り組んでいるのかということをご紹介させていただく。大学では、形が不揃いなトマトや、キャベツの外側の固い部分などを SDGs の観点を踏まえて活用している。また、アレルギーの方にも対応できるよう、小麦粉を使わない等の工夫をしながらメニューの開発を行っている。

事務局

北九州市教育委員会学校保健課

電話 093-582-2381